

令和6年12月20日
特別支援教育課 企画係
担当：狩野（外線：027-226-4651）
（内線：4652）

「ぐんまインクルーシブフェスタ2024」 ～ちからあわせる190マンパワー～ について

1 趣 旨

- ・ 群馬県における共生社会の実現を目指し、年齢、性別、国籍、障害によらず、すべての子供たちが同じ場所で共に学ぶインクルーシブ教育を推進する。
- ・ インクルーシブ教育推進に係る疑問や障壁等、幅広い意見交換や調査・研究、教育実践に係る報告を行い、県民への理解と啓発を図る。

2 主催・共催

【主催】群馬県教育委員会（特別支援教育課） 【共催】群馬県生活こども課

3 開催期間

令和6年12月6日（金）～令和6年12月10日（火）

4 開催場所

1階 県庁県民ホール（北・南）、2階 県民ギャラリー、3 2階 NETSUGEN、
2階 ビジターセンター

5 内容

【12/6(金) 県民ホール、県民ギャラリー 10時～14時】

- ・ ハートフルアート展（特別支援学校児童生徒作品展）
※ 12/10(火)まで開催
- ・ 統一ロゴマーク付与製品の発表、特別支援学校による作業製品販売会
- ・ 「ダブルニジマスバーガー」の販売
（多野・藤岡地域の専門高校と藤岡特別支援学校の共同開発）
- ・ 高等学校と特別支援学校によるステージ発表（和太鼓、ダンス、軽音楽等）
桐生清桜高校&渡良瀬特別支援学校 和太鼓コラボ「上州」
渡良瀬特別支援学校&桐生商業高校 和太鼓・ダンスコラボ「遊駒（ゆうま）」
盲学校 軽音楽「Paradise Has No Border」等

ハートフルアート展
来場者数4,453名(推定値)
(R5:2,830名)

ダブルニジマスバーガー
限定100個完売

※ 来場者の声

【アンケートより】

- ・ 生徒の皆さんと関係者の方の活気があってよかった。
- ・ ロゴマークのTシャツがほしいです。
- ・ 障害のある方のアートに触れることは少なく、何も知らない状態だったのですが、それぞれの描く作品に個性や思いが表れていて、言葉でなくても思いを伝えるきっかけになると思いました。

【参加生徒へのメッセージ】

- ・ 個性あふれる素晴らしい製品ばかりで心が洗われました。和太鼓演奏も力強く一人一人一生懸命演奏している姿にとっても感動しました。ダンス、和太鼓演奏のコラボレーションも素晴らしいかったです。来年もぜひ演奏してほしいです。
- ・ 販売会、ステージ発表おつかれさまでした。ありがとうございました。
- ・ マスバーガーおいしかったです。



【12/7(土) NETSUGEN 10時～12時】

- ・ シンポジウム「共生社会って何だろう～今私たちにできること～」

キーワード：ユニバーサル、ダイバーシティ&インクルージョン、インクルーシブ

シンポジウム
参加者数 57名

<司会者>

- ・ 宮坂あつこ 様 (FM 桐生アナウンサー・ジョブ・ル`ぐんま代表・MashuUp!代表・教育委員)

<シンポジスト>

- ・ 霜田 浩信 様 (群馬大学共同教育学部 教授)
- ・ 山本 泉 様 (特定非営利活動法人カウンセリング&コミュニケーション代表)
- ・ 平野勇パウロ 様 (株式会社アルテソリューション 代表取締役)
- ・ 高木 沙祐里 様 (ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業 研修修了生)
- ・ 増田 眞次 様 (玉村町立上陽小学校 校長)

※ 意見等の一例

- ・ 共生社会を目指していく中では、社会としての仕組み、学校としての仕組みだけでなく、人を育てていくことが大事。みんなそこで学んでいく。そこでの楽しさや難しさを子供自身が感じながら成長していける、そんなインクルーシブ教育を目指していくことができたらいいなと思う。
- ・ 不登校や中途退学者の支援活動が続ける中で、スタッフのインクルーシブな価値観が育っている。
- ・ 本来僕たち日系人が情報発信していかなければならない部分は興味をもっていない人たちにどうやって共生社会を共につくっていくのかを理解してもらうことが大事。
- ・ 今日こういった機会をいただいたことで、自分自身がインクルーシブにどのように関わっているかということを少し理解することができた。

【12/8(日) ビジターセンター 10時30分～15時50分】

- ・ ドキュメンタリー映画『うたうかなた』上映
- ・ トークセッション

上映会・トークセッション
来場者数 46名